

なか/べつ 農協だより



145
号
昭和62年1月

発行 中標津町農業協同組合
編集 営 農 部
印刷 (有) 板 野 印 刷

謹賀新年

昭和六十二年一月一日

新年号

中標津町農業協同組合

写真提供 高橋妙児氏





「われらの農協・みんなの農協」を 砦として協同の力を結集!!

中標津町農業協同組合組合長理事 児 玉 光 彦

明けましておめでとうござ
います。

組合員御家族の皆様には御
健勝で新年をお迎への事と心
よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返ります時に、
円高、ドル安の経済状況の中
にあって、輸出意欲の低下か
ら公定歩合やコールレートの
引下げが行なわれ、又漁業を
始め鉄鋼、造船、石炭等の企
業の経営不振が相次ぎ円高不
況で年を越しました。

農業にあっては、食糧の輸
入の自由化、市場解放が激化
酪農を始め主要農畜産物の生
産抑制、価格の低迷、其れに
拍車をかける様な農業批判、
農業過保護論が叫ばれる等、
多くの課題を抱え新しい年を
迎えました。

当地方に於いては春先は天
候不順で心配されましたが、
其の後順調に推移し、牧草、

馬鈴薯等(ビート)は若干落ち
昨年引き続き豊作に恵まれ

組合員皆様のご努力、ご苦労
に対し心より敬意を表します。

然しながら酪農にあっては
かつてないきびしい生産調整

の実施となり豊作を手ばなし
で喜べない状況でありました。

円高進行による輸入増大、コ
レステロールの問題等により

バターを始め、乳製品、飲用
乳の消費の不振、乳価の低下

等によるきびしい状況下で推
移しました。特にバターの消

費については沢山の製品の引
取りを願ひ、消費拡大にご協

力頂きました。

今年も農畜産物を取りまく環
境はきびしさこそ強まれ、楽

観は許されないと考えます。

日本経済にとって問題の日
米貿易摩擦が農畜産物の自由
化圧力となって農業をゆさぶ
り、黒字べらしのための円高

は輸入農畜産物の増加に拍車をか
けるであります。

今年度の営農計画を立てていた
だくわけですが、きびしい農業情

勢をふまえ、「六十二年度営農計画
樹立に当たっての基本方針」を柱に

し策定をお願い致します。

農協も円高不況の中にあつて、
農畜産物の価格抑制、自由化、市

場の解放、農業政策の見直し等が
必至の情勢にある事をふまえ心を

新たたにして、「おれ達の農協、
みんなの農協」の意義を今一度正

しく認識し、共に語り、共に考え
農協を砦として協同の力を結集願

ひ、難局を乗り切つてまいりない
と存じます。

組合員の皆様には昨年に倍しま
すご協力をお願い申し上げます。

最後に組合員を始めご家族のご
健康とご多幸を、そして今年一年

が良い年であります様ご祈年申し
上げましてごあいさつと致します。





英知と努力の 結集を期待

北海道農業協同組合中央会
会長 床鍋 繁則

謹んで新年のおよろこびを
申し上げます。

昨年の本道農業は、春以来
心配されました天候も、以後
順調に推移したためと、組合
員をはじめ関係各位のご努力
によって、全般的には昨年に



厳しい時代にこそ、組合

員の結集と協同の力が必要

中標津町農業協同組合
参事 五百木忠雄

護んで新年のお慶びを申し
上げます。

続き豊作に恵まれ、ご同慶に
たえません。どうか今年も健
康で、営農や生活にいつそう
励まれますとともに、豊穡の
秋を迎えられますようまずも
って心から祈念いたしたいと
存じます。

われわれの農協運動は、つ
ねに組合員の営農と生活を守
るため、組合員の主体的な協
同理念に基づく実践活動をふ
まえて、本道農業の安定確立
をはかるべく組織をあげて努
力してまいりました。しかし、
こうした組合員・農協の積極
的な活動にもかかわらず、最
近の農業・農協をめぐる国内・
国際情勢は大きく変化し、農

昨年は乳価・畑作価格共に
引き下げとなり、農業情勢も
一段と厳しいを増し、天候も
前半は低温で不順な日が続き、
大変心配な年ではじまりました
が、その後天候も回復し皆
さん方のご努力と、牛の高値
資材の一部値下がり等もあつ
て、組員の収支は全体で前年
より好転をしております。
さて、今年の農業情勢は、
乳価はどうなるか、共計澱粉
はどのくらいで売れて行くの

業経営はもちろん農協の運営
も極めて難しい状況に直面し
つつあります。

そして、農業は多くの未解
決な課題を抱えながら、また
新しい年を迎えました。食糧
の輸入自由化圧力の激化、稲
作をはじめ主要農畜産物の生
産抑制と価格低迷、さらに実
態を無視した農業・農協批判
や過保護論などであります。

もちろんこうしたいわれなき
一方的批判につきましては、
われわれとしても断固として
反論し、その非を正さなけれ
ばなりません。確かに広がり
をみせつつある食糧・農業
に関する国民的コンセンサス

か、牛の価格はどうなつて行
くのか、現況では非常に先の
見えない難しい状況下にあ
ります。組合員の皆さんも情勢
が不透明で、営農計画の樹立
に大変ご苦労をされることと
思います。
しかしなんとかこの厳しい
時代を耐え抜かねばなりません
、根室原野開拓以来、今日
までには今以上の困難な時代
を、先達は何度も耐え抜いて
きております。皆さんもどう

を阻害する要因となることを
憂慮するものであります。

本道農業は、百年余にわた
る開拓の歴史の中で幾多の悪
条件を乗り越え、今日の近代
化農業を築き上げました。こ
れも、その時どきの涙ぐまし
い先人の研さん努力と、産業
組合運動から引き継がれた相
互扶助の精神に基づく、強い
団結によるものであることを
思うとき、系統農協組織の総
力を結集するならば必ずや今
日の難局も打開できるものと
確信いたすものであります。

系統農協組織は、新時代に
ふさわしい北海道農業を築く
長期指標として「北海道農業

かこの難局を乗り切っていた
だきたい。
農協運営も、生産調整、乳
価の引き下げ等による賦課金、
販売手数料等の減少をはじめ
購買、金融事業に収益が減少
してきており厳しい状況では
ありますが、昨年暮に系統肥
料、農業の特別対策として組
合員に割戻しを行い、また一
月からは組員、農機具延払費
付金等の利率の引き下げも行
い、組合員のコスト軽減に努

基本構想」を樹立し、いまそ
の実践にはいつています。従
ってわれわれは、この実現を
めざして本道を名実ともに日
本一の食糧基地として発展さ
せ、わが国の食糧自給向上と
その安定確保を通じて、社会
に大きく貢献しなければなら
ない使命があることを忘れて
はなりません。

昔のことわざにいいます。
「天は自ら助くるものを助く」
と。各位の英知と努力を農協
運動に結集し、元気で頑張り
うではありませんか。

年頭に当たり所感の一端を
述べ激励のごあいさつといた
します。

力をしております。

厳しい時代にこそ組合員の
結集が必要であり、協同の力
が必要であります。組合員皆
さんのご理解と一層のご協力
をお願い申し上げます。

寒さ一段と厳しくなつて参
りますが、組合員の皆様には
ご家族揃って今年もご健勝で
実り多い年でありますようご
祈念を申し上げます。新年
のご挨拶といたします。



新年のごあいさつ

北根室地区農業改良普及所
所長 松岡 賢

新たな期待を胸に昭和六十二年の新春を、組合員の皆様を始め、御家族お揃いで迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年は五月の好天で春作業は順調に経過致しましたが、六、七月にかけての異常気象で、牧草の品質を中心に、出

来秋が非常に大きく懸念されました。しかし八月以降の天候回復と、皆様方の御努力により牧草と馬令しよは、平年を上廻る収量を得ることが出来ました。が、てん菜は、六月の低温の影響を取りかえず「かなり不良」の作況に終りました。心配されたてん菜の含糖率は、平均十六・三

%と、予想を上廻りましたが畑主業地帯では、収量、含糖率共に高く、後の価格動向が懸念される処であります。基幹作目である酪農は、乳製品の需要停滞により在庫増により、年度当初よりの厳しい生乳計画生産を余儀なくされと共に、実質乳価の削減で、例年になく重苦しい雰囲気の中でスタートとなりましたが、円高基調の中、再三に亘る濃厚飼料の価格引下げと、個体価格の上昇により、前年度の所得確保がなされた

事は喜びにたえない次第です。生乳の生産は皆様方の御努力にもかかわらず計画達成に苦慮する現況にありますし、一部では急激な産乳減産のため需要供給のアンバランスより、経産牛を中心に生殖機能障害が現れ、今後の大きな課題となった一年でありました。本年も産業を取まく情勢に変化はなく、厳しさのみが一段と強まるのではないかと、このため本年は次の事を重点に推進戴きたいと考えます。

- 一、基本技術の励行
 - 一、複合部内の採択
 - 一、コスト低減への挑戦
- 普及所ではこれ等実現のため、昨年に引継ぎ営農技術資料を関係者のご協力を戴き作成致しました。この資料をもとに皆様方と相談し、厳しい時代に対処出来る経営が確立される様、所員一同取り組む所存であります。
- 最後になりましたが、本年が実り多い年でありますこと皆様方の御健勝を心からお祈り申し上げます。



今年も後継者の技術交換の場に

乳牛改良同志会会長 佐藤 拓

輝かしい新春を会員をはじめ皆様方とお迎える事を心からお慶び申し上げます。

日頃、乳牛改良同志会活動にご協力を賜わり有りがとうございます。私達の活動が、会員だけでなく酪農経営の中に、一頭当たりの能力の向上や個体販売の消流、審査講習

会等に皆さんと共に全会員が地域の中心となって、情報交換。技術の提供して大きな成果を上げてまいりました。今後も独り同志会だけでなく、青年部、改良課等と酪農経営についての問題や、新しいデータを組み合わせる経営基礎を作り上げて行くことが

課題であります。近年、個体乳量の増加と反比例して生乳生産調整がなされ、そのため牛乳にだけ話題が集中して、農家はもちろん指導機関も牛乳一色の取り組み方しか出来ず、一方的な進め方は誠に残念に思う。私はこの時こそ実践活動を通して、いろいろな形の経営方法がある事を知り、この機会にみんなで英知を生みだして自立経営の基盤を作りあげて行くべきと思います。

同志会活動の中で次の二つに取り組み実践活動を進めてまいります。一つ目は物による利用の仕方があると考え、それらは飼料・機械・推肥・牛・施設等、それぞれ活用によつて改善することが多大にあると思います。二つ目には人作りであり、技術を身に付け新しい情報を聞き入れる事の出きる若い後継者が酪農の基となることを確信いたします。何れも会を通して仲間同志のつながりの場を作って行く事が我々の役割であります。

また、会が若者の心の寄りどころとなり経営に大きな糧となるものと考えられ、これ等は私達同志会活動の中から生まれるものと確信します。今年も各関係機関をはじめ諸先輩の皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。酪農業は後継者作りであると言う使命を会の信条とし、新たな年に向つて私達乳牛改良同志会の役割は限りなく続くことを願い、農家の皆さまの実りある一年でありますようご祈念申し上げます。

年頭のごあいさつ

農協青年部部长 高橋 勝義



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新しい年の出発にあたり昨年を思い返すとさまざまな出来事が脳裏によみがえってきます。

なかでも、私達生産者に衝撃的だったのは乳価の値下げとともに生産調整の再来でし

ずに行動し、みんなで課題を克服するため意欲的に取り組んでまいりました。特に、春以来、消費拡大に重点を置き、農協・婦人部の協力を得ながら展開を図るとともに、理事者との懇談会、新たに若手職員との交流など農協との関わりを深める機会を設け、常にチャレンジ精神で事に当り、あつという間に一年が過ぎたというのが実感です。

さて、今年はずいぶん、一気に進進したいところですが何やら最近の行政・財界等か

求められる気がします。青年部も若い立場から、英知を結集し、行動を前面に結果を恐れず、足元をみつめながら一丸となって取り組み、根室酪農がしっかりと根をはり、誇りを持って営農に従事出来る様諸先輩の指導をおおきながら活動を展開していきたい今年もよろしくお願ひ申し上げます。盟友各位、組合員の益々のご健勝とご多幸をお祈りして年頭のごあいさつとします。

らば、私達が加害者ごときに取り上げられ、過保護だの、自由化だのと大海の荒波に引き込まれる勢いの中で、私達生産者も自己防衛を今まで以上に進め、多事多難な年を乗り越えていかなければと決意を新たにしているところでです。また、一方で農協運営のあり方、系統のあり方等も論議的となり、つねに生産者と組織が本来の機能を果たすためにもお互いに知恵を出し合い農協を核として、今後の諸問題に対処すべくより一層の団結が

新しい年を迎えて

農協婦人部部长 酒井 拓子



明けましておめでとございます。

部員の皆様にはお元気で新春を迎えられた事を心より御慶び申し上げます。

昨年は、時付け後の低温に依る農作物等の影響が大変心配されましたが、実り多き秋であったと思います。しかし

ながら、生乳生産においては昨年を上回る厳しい計画生産が行われ、農業情勢の厳しさは加熱するばかりです。組織活動も部員の皆様の協力により時代の波に乗り遅れない様にと頑張つて参りました。昨

年は始めて部外に活動の場を移し青年部主催の「ふれあい広場」じゃが芋まつり」会場

手伝いと自らの消費拡大に努力して参りましたが、息の長い活動が必要である事を痛感させられました。昨年は東北、北海道リダグ小、碓に参加させて頂きましたが、「井の中の蛙大海を知らず」参加者の

中に酪農業者は少なく歓迎の挨拶でも米の話、夜の親睦会でも米の話、歌われた歌は米節と酪農は話題とならず日本農業の中の酪農の位置づけの小さい事を思い知らされ酪農寒地での畑作問題等、私達、北国で生きる者が解決し

なければならぬ問題である事を感じました。

私達婦人の役割も家計簿記帳に依る家庭内の守りから、経営簿記帳に依る経営手腕が問われる時代へと大きく変りつつある様に思われます。私達の活動は地域に根差した活動が必要な事は勿論ですが、地域外にも目を向け、まったく立場も考えも違った人達の意見を聞く等の研修が必要ではないでしょうか？

今年は今迄以上に厳しい農業情勢と思われれますが、私も微力ではありますが、部員相互の親睦を図り我農協を寄り添うところとし組織の力を結集し残す任期を頑張りたいと考えておりますので御協力下さいます様お願い致します。

又、未加入部員の皆様ぜひ婦人部に入会されまして私達組織活動の活性化に力を貸して下さい。お待ち致しております。

最後に、皆様の健康と農業情勢の好転を願ひ努力が報われる年である事を祈念して年頭挨拶と致します。

中標津町婦人祭決まる

趣旨 中標津町に居住する婦人が相集い学習し、自己を磨くと共に交流・交歓を通じて連帯・協調意識を高め、明るいコミュニティの創造に資することを目的とします。

テーマ 「婦人と家族の健康を考える」

主催 中標津町婦人祭実行委員会、中標津町農協婦人部、外各町内会婦人部、サークル等。

後援 中標津町・中標津町教育委員会

日時 昭和62年1月27日(火) 午前10時(開会)

場所 中標津町公民館

参加対象 中標津町内に居住する婦人

内容 (1)講演、テーマ「婦人と家族の健康を考える」

講師、北海道対ガン協会業務部長 浅野幸子氏

(2)実技指導 乳ガンの自己検診法

(3)講習 身近な素材を使った健康料理

◎牛乳を使った健康料理、雪印乳業(株)、札幌支店

◎こんぶを使った健康料理、函舞漁協 婦人部

(4)健康相談・展示コーナー ◎保健婦・◎栄養士・

◎歯科衛生士

(5)作品展示コーナー



明けましておめでとうございませう。

昨年ではん菜生産振興会事業にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

昨年は会員の皆さまにと

てん菜生産振興会発足十年の節目を迎えて

畑業振興会 会長 長繩 弘

って大変に不安の多い年でありました。長年にわたり農協内に事務所を設け、ご指導をいただいで来たホクレン中標津原料所が磯分内の開発課に移転しました。また、一昨年から糖分移行と言われながら、基準糖分が原料出荷ぎりぎりの十月に決定となり、そのう

え畑作三品目の中のビートの価格が引き下げとなるなど、誠に残念でなりません。また生育期前半の低温と日照不足で寒冷地作物の特性も発揮できず、予想をはるかに下回り、五十七年来の不作の年になりましたが、糖分については皆さまの大きな努力により基準

に達する事ができ、救いであつたとよろこんでいる次第です。六十二年を迎え、今年こそ目標に向かって頑張りたいと思います。中標津町農協てん菜振興会も五十三年の発足以来十年目を迎え、重量買ひから糖分買ひへと移行されましたが、十

年目を節目として、一次産業の厳しい時代こそ、酪農経営の中で草地更新、てん菜の耕作により経営の安定を図ると共に、てん菜生産振興会がますますの発展と繁栄を願ひ、生産者の皆様には本年もご健勝で、実り多き年になりますようご祈念申し上げて年頭のご挨拶と致します。

昭和62年度 草地畜産実技研修生の募集

目的 草地畜産に関する体系的な技術、知識を、畜産振興の技術的中核となるべき者に習得させ、畜産経営技術の総合的な向上を図るため、草地畜産実技研修を実施するものとする。

実施場所 草地畜産実技研修は十勝種畜牧場(北海道河東郡音更町)において実施するものとする。

研修の内容 (1)酪農・肉牛・草地等に関する講義(全課程の約35%)と実習。

(2)先進的酪農家・肉牛農家の見学と短期農家実習。

(3)家畜人工授精師免許・トラクター運転免許等を取得するようなカリキュラムの編成。

研修期間 昭和62年4月から昭和63年3月まで1か月間。

講師 十勝種畜牧場職員・帯広畜産大学教授ほか学識経験者。

応募資格 高等学校を卒業した者(見込みを含む)で北海道知事の推せんを受けた者。

募集人員 15名程度

応募手続 (1)受講願書等の用紙は、十勝種畜牧場に請求すること。

(2)受講願書等は、北海道知事に提出すること。

●市町村及び支庁経由のこと。

●提出期限 昭和62年1月20日

なお、詳しくは中標津町役場農林課畜政係へお問い合わせください。

授胎不良牛が 増加している!!

中標津町農業共済組合

「出荷調整方法のまずさが、
人為的栄養失調を
起こしている。」

最近、七・八月に分娩した乳牛が、発情がこない、排卵がスムーズでないと言う農家が増えつつある。悪いところでは一戸で十二頭もの牛が排卵障害、のう腫によって不授胎となっている。これらの農家、不授胎牛都を調査した結果、次のような共通点がある。

- 一、出荷枠があるため昨年同様に飼料給写する牛乳が余る予想がある。
- 二、その為に、計画的あるいは無意識のうちに飼料給写を抑えていることである。また牛群の結果では、一、TDN、CPの給与率が六十〜七十割となり、二、乳牛自体が体力保持能力を発揮して、産乳量を抑えている。
- 三、乳牛の外ばうは、やせている様子はない。(水肥り)
- 四、毎日の産乳量に大きな差がある。

五、乳脂率、無脂固形分が徐々に低下しているなどが上げられる。このような状況から、卵巣の発育が不良となり、不授胎のう腫などの増加となっている。一度この状態になると、獣医師が注射などの治療をしても快復はできず、仮に快復しても長期の治療を要する。

不授胎牛の発症増加は、翌年、翌々年の乳期に大きく影響するとともに、今乳期の乳成分の低下は、収益に大きく影響を及ぼす結果となります。治療法は只一つ、乳量に応じた飼料給写をすることです。飼料給写を適正に戻してもこのダメージは簡単には快復せず一カ月以上かかります。早期に発見し、治療と給写を早急に実施することが必要です。そのことが末期の分娩乳生産を安定させることとなります。このことによって、たとえ今年枠をオーバーし、投棄することになっても、長期的視点に立つて実施して下さい。また、どうしてもまずいと言う方は、妊娠牛にのみ、若干の減量を実施するのも一方法です。乳検データなどを活用して牛群の動きを確認し、排卵障害、卵巣のう腫が発症したら、早めに診療所、普及所、農協へ連絡下さい。

「一時の減飼は三年の回復期間を要します」

新婚さん

豊岡 慎一くん (24)
佐藤 明美さん (22)



十二月二十三日、寿宴ウエディングホールで、佐藤末美様ご夫妻の媒約によって、慎一君と明美さんの結婚祝賀会が催され、大勢の親戚、知人、友人が参会して盛大に祝福された。

二人の出会いには共にバレーボールの愛好者だったからで、バレーを通じて知り合った。その時の第一印象を慎一君は「随分フター、女だなアー」明美さんは「わあースマートでステキ♥」それ以来、半年余りの交際期間を経てこの度めでたくゴールインされた。

慎一君は佐藤道嘉牧場の長男で、農業高校卒業後は農業後継者として家業の酪農に従事、酪農の基礎知識を身につけて頑張ってきた。

一方、明美さんは中学三年の時、渚骨町より二両親、姉弟と共に当町へ転入、高校卒業後は会社勤めだったので酪農の経験は全く無いが、これから若い二人は、祖父母、ご両親が営々と築かれた基盤を継承し、更に経営の充実を図り足元の強い酪農を目指して助けあい手を取り合って頑張ってもらいたい。



ミュンヘン大学前で

第十一回

ヨーロッパ

酪農

人工授精

研修視察報告

家畜改良課 河内谷 義一

この度、北海道家畜人工授精師協会主催による、第十一回ヨーロッパ酪農・人工授精研修視察に参加する機会を得、十月十二日より二十九日

まで、デンマーク、

西ドイツ、スイス、フランス、オランダの

五カ国を訪門いたしましたので、自分なりに見聞してきました事を報告させていただきます。

まず、その他に、細菌測定機、バクトスキャンや、細胞測定機、フォソマチック、ミルクスケール等も販売しています。

本社職員四五〇名中八十名を、研究部門に配属し、製品開発に重点がおかれています。現在

は、単一の分析機から、コンピュータを使用し、分析結果を集中処理する。総合試験室システムを研究しております。

研究員の人達から、製品の説明を受けましたが、皆とても熱心で、流石、世界のトップメーカーだと、印象を受けました。

次に、デンマーク農業助言センターを、訪問しました。ここは、乳検事業、乳牛改良、飼料を中心とした飼養技術の

開発普及など、酪農経営に関するあらゆるサービス事業の指導機関であります。運営資金として、国や地方から基金援助を受けているが、運営は構成員の自主性にまかされております。



バンガーサイロ



スイス山岳酪農

ここでは、アシスタントデレクターの人や、デンマーク人工授精師協会事務局長の人から、人工授精、牛の改良、酪農状況等について、話を聞きました。

最近では、アメリカ、カナダから、精液を輸入しております。

の普及率が七十五%位で、一〇万頭の乳牛に人工授精を行なっております。その内、六十五%が、デンマーク黒白牛で、十五%が、デンマーク赤白牛だそうです。

人工授精の初回受胎率は、七十三% (三十三〜七十七NR) 位で、受胎まで、一・六回か

かり、初産分娩月令二十七カ月、分娩間隔は、三七五日位

です。

最近では、アメリカ、カナダから、精液を輸入しております。

アメリカ、カナダの牛は、乳量で改良されている為に、乳量に対する遺伝的改良度が早められ、乳房低面の位置が高く、体格が大きい等によります。このことは、デンマーク黒白牛をアメリカ、カナダタイプに切り換える為でなく、これらの豊乳性にデンマークの牛肉生産性を、プラスする考え方で導入されています。

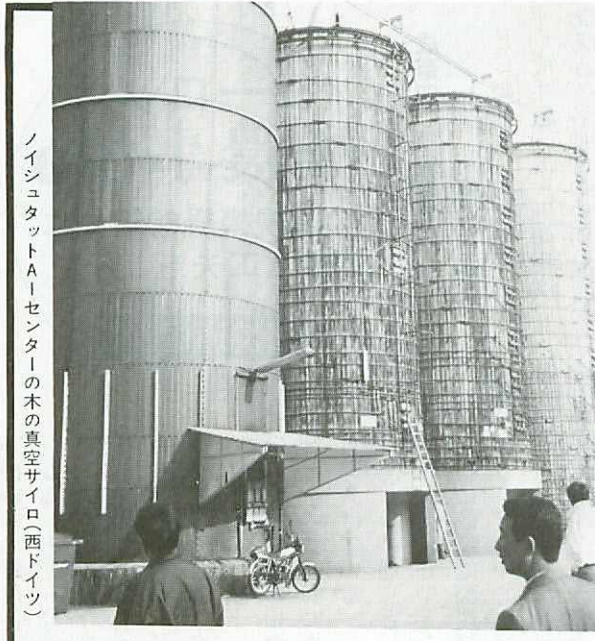
デンマークにおけるフリージアンは乳肉兼用を目的とし、乳牛改良も乳肉併用の方向で取り進められています。デンマークでは、人工授精師になるには、一年以上農家で実習をした者が研修を受けることができず。最初に、六週間の研修を受け、六カ月の実技をして二週間の講習を受け、終了試験に合格してやっと、人工授精師になれるという厳しさです。フランス、西ドイツ等も、人工授精師に対する教育は割に厳しく、受胎成績の良くない人は、再教育を受けねばならず、こういう

った事がヨーロッパと日本の人工授精に差があるのではないかと思われました。デンマークでは、酪農家戸数が約三万五千戸で、百万頭の搾乳牛を飼養しております。一頭当りの乳量は、デンマーク黒白牛で約六四〇〇kg (F%四・〇)、デンマーク赤牛で六〇〇〇kg (F%四・二) 位だそうです。

乳価はE.Cのバター脱粉の保証価格を基準として脂肪、蛋白質及びその固形分の価値を計算して各々%当りの単価を出し成分率によりスライドさせています。更に衛生的な品質(細菌数、細胞数、風味)、季節乳量調整金等が加算され決定しています。(約二・一四クローネ/kg約四二・八円)デンマークでも年々、酪農家戸数は減少していますが、生産調整の取り組みや営農指導の為に、指導員や技術員は増やし、この時代を乗り切ろうと、努力しているようでした。環境美化については、ヨ

ーロッパどこでもそうだと思われませんが、市街地、農村の住宅は窓やベランダを、レースのカーテンや赤い花で飾り人の目を非常に楽しませてくれます。農家も住宅、牛舎、その周辺の整備を良くしているが、デンマークでは今後二年内に牛の、糞尿処理施設を設備しなければならぬという、ヨーロッパ人の環境美化に対する取組みに、とても感心させられました。

(次号へつづく)



ノイシュタットAーセンターの木の真空サイロ(西ドイツ)



20年使用のトラクター(西ドイツ)



Aー師の車に積まれた精液保管機(西ドイツ)



成畜四〇頭規模での

経営集化か

ECの一九八四年一戸当り平均成牛数十五・七頭程度であるが、各地での説明などから想像するところ、ECの目標とする経営規模の想定は成牛四〇頭規模による集約的な合理的酪農経営を目指しているのではないかと思われた。

成牛四〇頭以上飼養農家

一九八四年

国別	酪農家戸数%	乳牛頭数%
西独	六	二二
オランダ	四四	七五
英国	五七	八五
デンマーク	二六	五一
仏国	八	二六

各国とも集中化の傾向がみられているが、今回のクォーター制以降を契機として、小

規模経営の離農促進をはかる一方で、経営規模拡大をはかり、集中化を進めているようである。デンマーク、ドイツなどの助言センターのクォーター制下における酪農経営の指導方針として共通的に次の点をあげている。

① EC共通点として

濃厚飼料依存型となっており、特に商業的酪農経営展開がオランダを中心に行なわれていたが、今後は土地に立却した、乳牛という草食動物を完全に活用し、このため良質粗飼料の確保につとめる。七〇%粗飼料利用と五〇%粗飼料利用のタイプをみると七〇%粗飼料利用タイプが所得率で向上をみている。このことは我が国でも一頭当り生草五トの給与の場合の乳飼比が五八%に対して十五トでは三五%となつて所得増大のキメ手となっている。②購入飼料の節減をはかること。自給の濃厚飼料の確保、麦類の作付、③一頭当り乳量の増加につとめること。このため乳牛改良を進め、だ牛のとう汰を

はかる。④健康な乳牛管理、乳房炎、繁殖障害牛の排除、
ECでは殆んど開業獣医師であり支出を抑える。⑤良好な産仔の確保、十二〜十四カ月の産仔、一日当り及び一乳期の乳量が高いこと。⑥このため乳牛を改良大型化するためカナダ、アメリカより優秀な精液を輸入する。⑦生乳生産と肉の活用のためにも、在来型より大型化すること。⑧最大の課題としてEC全体が

厳しい乳質規制がみられる一方成分的取引がみられており、デンマークでは細菌数二〇万以上を受入れせず、英国は、十万以上を受入れせずという規制のため、衛生的品質、成分的品質の向上に極めて熱心となっている。特に乳房炎防除対策に重点がおかれている。

各種の助言、情報を提供されているが、これを受入れ、実践するかどうかによって、今後の経営を改善するかどうかは経営者自身の責任である。このような厳しい条件下ではあるが、欧州全体の気風として、自らが職業を選択し、自然との生活を楽しみ、農村生活をエンジョイするのが人生

の目的であるとの考えから、負債もあまりなく、農村生活の中で、ジャムを作り、肉製品を作り、生活が確保されるならば、どの様な事態にも対応できるという経営は今後とも水続されるものであろう。今後の国際競争の中で目標として成牛四〇頭平均水準を目標としているように感じられた。

厳しい条件の中での酪農家の対応

各国の国民性が経営に反映され、又個人の支え方が、将来の経営像を決めているようである。

デンマークでは、特別な問題として環境規制問題が発生している。これは長年に亘る堆厩肥の投入で土地が窒素過多となつて、空気、土地、水の汚染がみられるので、一九九〇年までに堆厩肥の密封化をはかることとなつて、新規投資が問題となつている。

この規制としては一ha当り成牛二・三頭などの検討が行なわれていることについてについては、ユーラン半島など新しい開拓地では、都市近郊から規制のない我々のところに移転してはどうかなどと言っているが新しい問題となっている。また、デンマークでは、父親の経営を息子が買い取る形で引継ぐが、近代化に投資された負債と買い取り価格を考えると、金利の面、生産制限などから、既に三〇haの土地を自ら手に入れていたため引き継ぐかどうか判らないという話もあり、社会構造の相違などから理解しにくい面があった。

又ドイツでは、さすがに意欲的な経営展開がみられ、オランダでは、新たに二〇haの土地を購入し、これに一七五〇〇%の生産枠がついており大いにやれるという自信に満ちた酪農家の話があり、英国では畜産大学卒の優秀なマネージャーの、意欲的な経営展開が期待され、農村生活をエンジョイしている姿に接し、スイス山岳では山チーズ作りながら山岳生活と酪農を楽しむ姿があるなど、それぞれ個性的な酪農経営の展開がみられた。

消費拡大についてそれぞれ酪農家の拠出で行なわれているが、これぞと言う決め手は

レッツ！健康



働き盛りは健康第一

成人病と胃がんの合同検診

新保健センターではじめて実施!!

ないようであるが、デンマークでサッカーチームのユニフォームに今までビール会社のマークから金を出して牛乳の

キャロラインマークでテレビに登場するということであつた。

いまや人生八十年といわれる時代。日本は世界一の長寿国となりましたが、人間ただ漫然と長生きしただけでは幸せせとは言えません。健康で長寿を全うすることが第一の幸せです。

それには若いうちから成人病に負けない健康な食生活、日常生活に心がけ、検診などで病気の芽を見つけ早期に摘みとつてしまう事が大切です。

郡部ではすでに、各部落会館で成人病検診を一度行なっていますが今年から新保健センターでも成人病・胃がんの合同検診が行なわれます(内容・料金は郡部の成人病検診四月の胃がん検診と同じ又、それぞれ、単独でも受けられます。対象)

- 成人病検診 30才以上
- 胃がん検診 30才以上
- 結核検診 19才以上

●エキノコックス検査
三年以上検査をうけていない方

料金

成人病検診 4000円
胃がん検診 12000円

(農協から半額補助があり、残りが組勘から引かれます)
結核検診 無料
エキノコックス 無料

検査内容

成人病検診 身長・体重尿・血圧・心電図・血液
高脂血症・肝臓・貧血
胃がん検診 バリウム検査
結核検診 胸部レントゲン
エキノコックス 採血

日程

六十二年一月二十日(火)
一月二十三日(金)

場所

新保健センター(町立病院右手奥)

受付時間

成人病検診

- 午前七時～十時三十分
 - 午後一時～二時三十分
- (胃がん検診と同時に受けた)

い方は午前の時間帯に来て下さい)

胃がん検診
●午前七時～十時三十分
受ける時の注意

成人病検診

- 前日の朝食から脂肪の多いもの、夕食よりアルコール類はひかえる
- 午前中うける方 朝食はとらないで下さい。
- 午後から受ける方 朝食は軽く昼食はとらないで下さい。

胃がん検診

- 前日夜十時から飲食をしないで下さい。
- 前日は酒類を飲まないで下さい。
- 当日タバコを吸わないで下さい。

その他

申込みを忘れた方でも受ける事が出来ます。健康手帳を忘れずに持ってきて下さい。

家畜改良



選抜淘汰

家畜改良課
井出本 李次郎

乳牛改良の目的

改良の大きな目的は品種の能力を向上させ、人類に利益をもたらすことであります。

つまり乳牛の経済的生産能力の向上なのです。この生産能力はそれぞれを司さざる遺伝因子に大きく支配されます。乳牛の生産能力・体型・資質を総称して形質といいますが、このうち明らかに遺伝するものを遺伝形質といえます。「淘汰なくして、改良はあり得ない」と言う言葉があります。家畜の改良とは利用目的の遺伝形質をますます伸ばし、好ましくない形質を極力とり除くことなのです。

種々の改良目標に向って家畜集団を改良変革して行くためには、目標に近い仔畜を生産する遺伝的に優れた種畜を選び出さなければならぬのです。選抜とは優良な種畜を選ぶと同時に悪いものは淘汰し次代における優良遺伝子の比率を増加させることであります。

選抜淘汰の方法

A、個体・家係・家系内選抜
方(表一)

表一は三頭の母牛の24頭の娘牛の年間乳量を示すもので、これに基づいて各選抜方法を示すと。

一、個体選抜

図の集団から4頭を淘汰せよというときには、N V W X を選ぶのが個体選抜淘汰です。この方法は遺伝率の高い形質に用いられると良い、肉用牛の直接検定はこれらにあたります。

二、家系選抜

家系選抜とは、母牛1 2 3の娘牛の平均乳量が最も良い

ものを選ぶことである、この成績からは母1が平均六、五〇〇kgで一番良い、従ってこの家系のAからFまでの個体を選ばれる。

三、家系内個体選抜

それぞれの家系の中で最も悪いものを選び淘汰すること。家系内選抜淘汰と言う。各家系から2個体とすれば、図で判るようにE F M N W X が淘汰される、家系1のE F が、家系3のV X より乳量が多い

がこのようなこともあり得る。以上の方法については家系以外、産歴、乳脂量、体形などに置き変えて利用できます。

B、後代検定及び血統による選抜

一、後代検定による選抜

仔の平均記録を基に親を選抜する方法で、北乳検でも実施している日PDがこれに当る。乳牛の泌乳量、乳脂量、円に関する検定や肉用牛の関接検定もこの方法である。現在の北乳検ではB U L P法で行われており、初産牛の能力を種牡牛別に平均値を見て、これらの組の中で最も良い種牡

牛を選び出す方式である。乳牛の様に1頭の種牡牛が多くの仔牛を残す場合、種牡牛の育種価の良否はその集団の遺伝子構成に重要な影響を与える。

二、血統による選抜

個体の育種価を父母、又は祖父母等の記録を用いて推定し選抜する。父又は母の記録による選抜はその個体の記録に比して正確度は五十%であり、父母が不明で祖父母いずれかの記録という時にはその正確度は二十五%である。これは現在、ホルスタイン協会等からP・I(ペテグリー、インデックス)という形で資料が出されている、大家畜には有用である。

三、体形による選抜

肉牛牛の場合は体形と経済形質との間に相関がみられることがある。この場合は体形的にみた選抜淘汰により、経済効果があると思われるが、乳牛の体形得点と乳量のような場合は、得点の遺伝率〇・一〇・三%程度で乳量との遺伝相関も〇・二%と低いので、体形のみでの選抜によって

(表一)

家系-1 (母牛1)	A	B	C	D	E	F					平均		
	●	●	●	●	●	●					6,500 kg		
家系-2 (母牛2)	G	H	I	J	K	L	M	N					
	●	●	●	●	●	●	●	●				6,275 kg	
家系-3 (母牛3)	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X			
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			6,040 kg
生産能力(乳量)	7,000	6,800	6,600	6,400	6,200	6,000	5,800	5,600	5,400	5,200			

乳量が飛躍的に向上するとは
言えない。

アメリカにおけるホルスタ
インの改良は体形を重視せず、
カナダは体形重視であった、
その結果アメリカは乳量は高
いが体形で劣り、逆にカナダ
は体形が良いがアメリカより
乳量が10%低いと言われたこ
とがある。しかし日本では特
に乳器について約20年前に比
較して、改良された大型酪農
にマッチしたホルスタインが
造られた。

四、複数形質選抜

イ、順繰り選抜方

ひとつの形質について先ず
選抜し改良し、満足出来る水
準に達したらその群に対して
二番目の形質を選抜し改良す
るといった、一形質づつ改良
してゆく方法である。

ロ、独立淘汰水準方

各形質について、例えば乳
量・乳脂率・体形といったも
の選抜基準(淘汰基準)を
決めて、全ての基準に合格し
た個体を選び出して次第の親
とする方法である。

ハ、指数選抜方

〈各家畜の主な形質の遺伝率〉

乳牛		豚	
乳量	0.2~0.4	一腹子数	0.1以下
乳脂率	0.4~0.8	生時平均子豚体重	0.1以下
固形物率	0.3~0.7	離乳後増体量	0.3
妊娠期間	0.2~0.4	飼料要求率	0.3
羊		平均背脂肪厚	0.5
毛量	0.2~0.5	屠体長	0.55
毛長	0.4~0.7	ロース芯面積	0.45
クリンプ数	0.4~0.9	赤肉割合	0.45
1腹子数	0.1~0.2	卵用鶏	
産肉性	0.5前後	産卵数	0.3
肉用牛		卵重	0.55
受胎に要す る種付回数	0.10	初産日齢	0.32
分娩間隔	0.10	卵比重	0.41
生時体重	0.40	成体重	0.56
1日増体量	0.55	フ化率	0.16
成熟体重	0.60	生存率	0.05
脂肪交雑	0.48	肉用鶏	
ロース芯面積	0.50	8週齢体重	0.52
		胸角度	0.44

注 豚は中央値、鶏は平均値

現在の酪農経営から
淘汰について

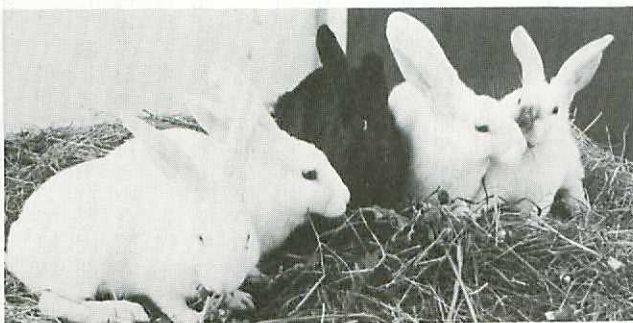
各形質の経済的重要度から
それぞれの重み付けの値を決
め、それらに対応する形質と
の積を求めて合計したものが
指数値である。そして指数値
の高いものを選び出す方法で
ある。

生産される牛乳が余り計画
生産が未だ続くであろうと言

われる今日、いやが応でも淘
汰しなければならぬと言っ
た状態になって来ました。現状
の淘汰を見ると乳量の少ない
のから淘汰されているよう
ですが、それを更に掘り下げて
みるとその乳量の少ない原因が、
乳房炎や繁殖障害等の疾病・
年令が要因となっているもの
が少くないようです。これは
後天的要因によるもので飼養
管理を改善しなければ、高能
力の牛程先に淘汰されてしま

うといった、誤った淘汰にな
ってしまふ恐れも多分にある
と思われまます。こうなると乳
牛改良の為の淘汰ではなくな
ってしまいます。
個体販売が大きなウエート
を占めるこの地帯の酪農経営
については、販売・イコール
淘汰と考えるのは誤りで、「自
分の牛群だけ良いものを揃え、
悪いものは売る」では、根室
管内、道内、ましては日本の
乳牛改良にはならないのです。

淘汰という意味は悪いものを
死滅させることなのです。
これからの酪農は牡牛側の
後代検定も急速に進み、雌牛
の方も選抜淘汰、飼養管理の
改善などにより、アメリカ酪
農が経験して来たような搾乳
頭数は減るが生産乳量は伸び、
個体能力が大中に上って来る
時代を北海道も迎えようとし
ています。



新年あけましておめでとうございます。
組合員のみなさんと農協とのコミュニティを更に深めるため、
地域の話あれこれ・フォーカス・文芸など「農協だより」に投
稿してみませんか、今年は無年、ヨロシクお願い致します。

営農計画書は家族で話し合って樹立を!!

くみかん
組合員勘定の
取扱いについて

組合員勘定制度を本組合では昭和三十六年に導入し、組合員の農業経営を計画化することによって、経営の効率化と生活の合理化を図るべく運用されてきました。この間、高度経済成長期における投資の増大（農地・住宅・農機具）と消費の拡大（生活水準のアップ）等農家経済が肥大してきました。

その後、昭和四十八年のオイルショックによる日本経済の低成長への移行と、昭和五十四年度より生産の計画生産、価格の低迷により、所得率が減少し負債が累増すると共に農家経済は極めて厳しい事態に直面しております。

この様な農家経済の構造が大きく変化するなかで、本年度の実態を見ますと、その適性運用化が薄れて、ややもする

と便宜的（何でも決済）に運用されており、このことが単年度収支が合わず、農家経済立直しの阻害要因となっております。

組合員勘定制度の趣旨を見直し本来の目的に戻って、昭和六十二年度よりスタートする改定した営農計画書、組合員勘定報告票、営農管理報告票の適性運用に努めていただきます。

組合員勘定取引基準

組合員勘定の取引対象者は、
(一) 組合員勘定取引約定契約の締結者。
(二) 営農計画書の提出の組合員で、単年度収支のバランスがとれる。又単年度収支のバランスがとれなくても、将来経営改善が確実であり、経営自己管理に強い意欲のある組合員、となっております。
また、組合員勘定は組合員

の必要とする総ての資金を供給するものでなく、農協を経由する販売代金、その他の約定受入資金に基づき資金供給限度の範囲内で、経営資金と家計資金を供給するもので取引対象資金は次の通りです。

一、資金受入項目

- (1) 農産物販売代金
- (2) 畜産物販売代金（補給金）
- (3) その他（家畜共済金・現金及び振替による受入資金外）

二、資金供給項目

- (1) 経営費
- (2) 家計費
- (3) 資金返済
- (4) 支払利息
- (5) 貯金・共済
- (6) 農業機械

詳細の項目については昭和六十二年度営農計画書を参照下さい。

尚、農業機械は単年度収入で決済出来るものは組勘で扱いますが、支払が一年以上の長期に亘るものについては農機具延払貸付金をご利用下さい。

「豊岡会館」新築成る

寄りどころ

通信員
だより



三十年間にわたって地域の集会場として親しまれて来た豊岡部落会館が老朽化のため、新しい会館の建設が進められて来ましたが、先程完成し十二月九日盛大に新築落成祝賀会が催されました。広さは旧会館の二倍以上になり、料理講習会等に活用できる充分な広所も完備した立派な会館です。
建設された場所は国道二七二号線のすぐ側なのでいい目印になります。
新しい会館が地域の寄り所として多くの人達に利用されるでしょう。

理事会の経過



第十回理事会

開催日 十二月十一日
開催場所 農協中会議室

〈議案〉

- 一、貯金利率の改定について。
- 二、生産物金融貸付金利率の改定について。七・五〇%
- 三、系統肥料特別対策費及び六十一農薬特別対策費の支出について。十二月十二日。

組織・普通貯金口座に振込
四、昭和六十一年度畑作緑肥対策について。

五、昭和六十二年度営農計画樹立に当たっての基本方針案並びに営農計画作成資料について。

六、昭和六十一年度団体営草地開発整備事業の変更について。

七、クミカン及び農機具延払貸付金利率について。

(1)クミカン貸越(営農貯金ネット)を超えるもの 七・七五%

(2)農機具・施設・車両・延払利率、六・三%。保証人は三百万円以内は一名

(3)実施日、昭和六十二年一月一日

各号議案は原案どおり決まりました。

〈協議事項〉

一、固定化債権の処理について。

〈報告事項〉

- 一、自治監査実施について。
- 二、てん菜出荷実績について。
- 三、販売事業の概要について。

四、人工授精頭数について。
五、昭和六十二年度職員採用内定について。

六、肉牛センター用地の経過について。
七、組織中間協議後の状況について。

八、昭和六十一年度生乳計画生産について(再配分)

昭和61年度 緊急良質生乳供給特別奨励金 第1.2四半期分支払

支払月日
12月24日

昭和61年度畜産物価格関連対策の新規事業と発足した。緊急良質生乳供給特別奨励金交付事業の第1.2四半期分下記のとおり支払いたしました。

奨励金支払内容

(1)奨励金支払対象数量(kg)…各四半期受託一等乳量
各四半期加工原料乳補給金交付対象数量kg当り

(2)奨励金支払内訳

中標津町農協

	第1四半期分(4~6月)	第2四半期分(7~9月)
奨励金支払対象数量	16,853,265.0kg	17,965,770.1kg
奨励金支払金額	18,044,790円	18,925,139円
奨励金支払単価(円/kg)	1円0707	1円0534

注 奨励金の支払い時期

第3四半期(10~12月) 昭和62年2月末

第4四半期(1~3月) 昭和62年4月末

農村地域/バター・チーズ消費拡大運動推進状況

酪農の長期安定を図るため、昭和54年度より生乳の計画生産を実施しているが、バターをはじめとする乳製品は消費が停滞し、在庫は増加の傾向があるので、一般市場における積極的な販売拡大対策を実施する一方、農村地域に限定したバターとチーズの詰合せを製造し、組合員向け消費拡大を展開し別表のような推進状況となりました。御協力有難うございます。

別表

	バター			チーズ		
	目標セット	実績セット	進 度 %	目標セット	実績セット	進 度 %
中標津町	603	400	66	299	974	326

間違いはがし



この絵の中には、いくつ間違いがあるでしょうか。間違いを見つけて、その数をハガキに書いて送って下さい。

〔応募規定〕

- ①官製ハガキに答えを書いて送って下さい。
- ②あなたの氏名・住所・年齢を書いて下さい。
- ③対象者●小・中学生
- ④宛先●中標津町東七条南二丁目 中標津町農協組織広

報係

⑤締切日●一月二十日まで

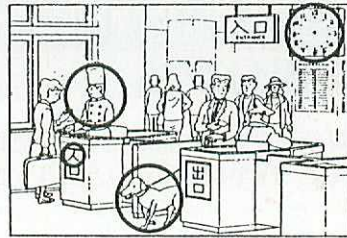
※正解者には当り賞、応募され、残念だった方には参加賞を差し上げます。なお、賞品は農協へ受け取りに来て下さい。

※発表は、三月号紙面で行います。

〔十一月号の当選者〕

十一月号の正解は「四つ」(下の図の○印)でした。応

〈11月号の間違い箇所〉



募者数五名で正解者は、三名でした。
正解者は次のとおりです。
俵橋 中林誠司くん
俵橋 中林英司くん
俵落 真部幸子ちゃん

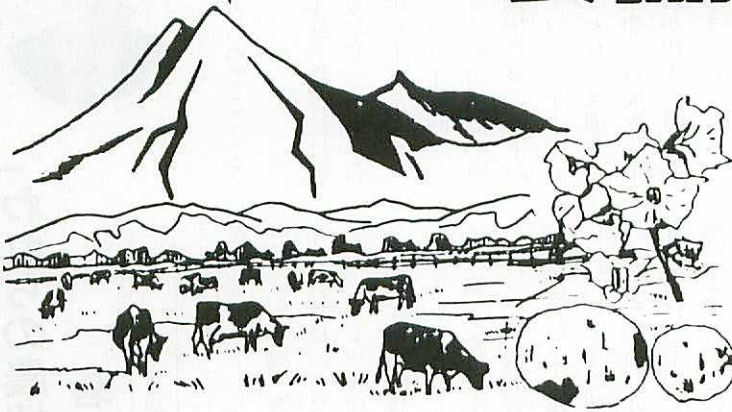
12月の組合日誌

- 3日 役員協議会
- 4日 店舗利用者懇談会
- 5日 第3回生産委員会
- 8日 第3回営農委員会
- 8~16日 農機具管理共励会
- 10日 馬鈴しょ振興会役員会
- 11日 第10回理事会
- 17日 てん菜生産振興会役員会
- 18日 酪対役員会
- 19日 馬鈴しょ耕作者全体会議
- 26日 第5回役員協議会

〈お知らせ〉 年始の業務

業 務	月日(曜日)	営業時間	
一 般 業 務	1月7日(水)	午前9時より 午後4時30分まで	平常営業
貯金、クミカン カ ワ セ	1月5日(月)	平常営業	
ATM(現金自動 受入・支払機)	1月5日(月)	平常営業	
ス ト ア	1月5日(月)	午前10時より 午後6時まで	1月5日より 平常営業
ス タ ン ド	1月5日(月)	午前10時より 午後1時まで	1月7日より 平常営業
人 工 授 精	1月4日(日) ~6日(火)	受付時間 午前10時まで	1月1日~1月 3日まで休業

なか/べつ 農協だより



145
号
昭和62年1月

発行 中標津町農業協同組合
編集 営 農 部
印刷 (有) 板 野 印 刷

謹賀新年

昭和六十二年一月一日

新年号

中標津町農業協同組合

写真提供 高橋妙児氏





「われらの農協・みんなの農協」を

砦として協同の力を結集!!

中標津町農業協同組合組合長理事 児 玉 光 彦

明けましておめでとうござ
います。

組合員御家族の皆様には御
健勝で新年をお迎への事と心
よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返ります時に、
円高、ドル安の経済状況の中
にあって、輸出意欲の低下か
ら公定歩合やコールレートの
引下げが行なわれ、又漁業を
始め鉄鋼、造船、石炭等の企
業の経営不振が相次ぎ円高不
況で年を越しました。

農業にあっては、食糧の輸
入の自由化、市場解放が激化
酪農を始め主要農畜産物の生
産抑制、価格の低迷、其れに
拍車をかける様な農業批判、
農業過保護論が叫ばれる等、
多くの課題を抱え新しい年を
迎えました。

当地方に於いては春先は天
候不順で心配されましたが、
其の後順調に推移し、牧草、

馬鈴薯等(ビート)は若干落ち
昨年引き続き豊作に恵まれ

組合員皆様のご努力、ご苦労
に対し心より敬意を表します。

然しながら酪農にあっては
かつてないきびしい生産調整
の実施となり豊作を手ばなし
で喜べない状況でありました。
円高進行による輸入増大、コ
レステロールの問題等により
バターを始め、乳製品、飲用
乳の消費の不振、乳価の低下
等によるきびしい状況下で推
移しました。特にバターの消
費については沢山の製品の引
取りを願ひ、消費拡大にご協
力頂きました。

今年も農畜産物を取りまく環
境はきびしさこそ強まれ、楽
観は許されないと考えます。

日本経済にとって問題の日
米貿易摩擦が農畜産物の自由
化圧力となって農業をゆさぶ
り、黒字べらしのための円高

は輸入農畜産物の増加に拍車をか
けるでありましょう。

今年度の営農計画を立ててい
たくわけですが、きびしい農業情
勢をふまえ、「六十二年度営農計画
樹立に当たっての基本方針」を柱に
し策定をお願い致します。

農協も円高不況の中にあつて、
農畜産物の価格抑制、自由化、市
場の解放、農業政策の見直し等が
必至の情勢にある事をふまえ心を
新たににして、「おれ達の農協、
みんなの農協」の意義を今一度正
しく認識し、共に語り、共に考え、
農協を砦として協同の力を結集願
ひ、難局を乗り切つてまいりな
いと存じます。

組合員の皆様には昨年倍しま
すご協力をお願い申し上げます。

最後に組合員を始めご家族のご
健康とご多幸を、そして今年一年
が良い年であります様ご祈年申し
上げましてごあいさつと致します。





英知と努力の 結集を期待

北海道農業協同組合中央会
会長 床鍋 繁則

続き豊作に恵まれ、ご同慶にたえません。どうか今年も健康で、営農や生活にいつそう励まれますとともに、豊稔の秋を迎えられますようまつもつて心から祈念いたしたいと存じます。

謹んで新年のおよろこびを申し上げます。

昨年の本道農業は、春以来心配されました天候も、以後順調に推移したためと、組合員をはじめ関係各位のご努力によって、全般的には昨年



厳しい時代にこそ、組合 員の結集と協同の力が必要

中標津町農業協同組合
参事 五百木忠雄

護んで新年のお慶びを申し上げます。

業経営はもちろん農協の運営も極めて難しい状況に直面しつつあります。

そして、農業は多くの未解決な課題を抱えながら、また新しい年を迎えました。食糧の輸入自由化圧力の激化、稲作をはじめ主要農畜産物の生産抑制と価格低迷、さらに実態を無視した農業・農協批判や過保護論などがあります。

一方の批判につきましても、われわれとしても断固として反論し、その非を正さなければなりません。確かな広がりをもせつつある食糧・農業に関する国民的コンセンサス

昨年は乳価・畑作価格共に引き下げとなり、農業情勢も一段と厳しさを増し、天候も前半は低温で不順な日が続き、大変心配な年ではじまりましたが、その後天候も回復し皆さん方のご努力と、牛の高値資材の一部値下がり等もあって、組勘の収支は全体で前年より好転をしております。

か、牛の価格はどうなっているのか、現況では非常に先の見えない難しい状況下にあります。組合員の皆さんも情勢が不透明で、営農計画の樹立に大変ご苦労をされることと

かこの難局を乗り切っていたきたい。

農協運営も、生産調整、乳価の引き下げ等による賦課金、販売手数料等の減少をはじめ、購買、金融事業に収益が減少してきており厳しい状況ではあります。昨年暮に系統肥料、農薬の特別対策として組合員に割戻しを行い、また一月からは組勘、農機具延払貸付金等の利率の引き下げも行い、組合員のコスト軽減に努

力をしております。

厳しい時代にこそ組合員の結集が必要であり、協同の力が必要であります。組合員皆さんのご理解と二層のご協力をお願い申し上げます。

寒さ一段と厳しくなっておりますが、組合員の皆様にはご家族揃って今年もご健勝で、実り多い年でありませう。ご祈念を申し上げます。新年のご挨拶いたします。

を阻害する要因となることを憂慮するものであります。

本道農業は、百年余にわたる開拓の歴史の中で幾多の悪条件を乗り越え、今日の近代化農業を築き上げました。これも、その時どきの涙ぐましい先人の研さん努力と、産業組合運動から引き継がれた相互扶助の精神に基づく、強い団結によるものであることを思うとき、系統農協組織の総力を結集するならば必ずや今日の難局も打開できるものと確信いたします。

系統農協組織は、新時代にふさわしい北海道農業を築く長期指標として「北海道農業

基本構想」を樹立し、いまその実践にはいっています。従ってわれわれは、この実現をめざして本道を名実ともに日本一の食糧基地として発展させ、わが国の食糧自給向上とその安定確保を通じて、社会に大きく貢献しなければならぬ使命があることを忘れてはなりません。

昔のことわざに「天は自ら助くるものを助く」と。各位の英知と努力を農協運動に結集し、元気で頑張ろうではありませんか。

年頭に当たり所感の一端を述べ激励のごあいさついたします。



北根室地区農業改良普及所
所長 松岡 賢

新年のごあいさつ

新年期待を胸に昭和六十二年の新春を、組合員の皆様を始め、御家族お揃いで迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年は五月の好天で春作業は順調に経過致しましたが、六、七月にかけての異常気象で、牧草の品質を中心に、出

来秋が非常に大きく懸念されました。しかし八月以降の天候回復と、皆様方の御努力により牧草と馬令しよは、平年を上廻る収量を得ることが出来ました。が、てん菜は、六月の低温の影響を取りかえせず「かなり不良」の作況に終りました。心配されたてんさいの含糖率は、平均十六・三

%と、予想を上廻りましたが畑主業地帯では、収量、含糖率共に高く、後の価格動向が懸念される処であります。

基幹作目である酪農は、乳製品の需要停滞により在庫増により、年度当初よりの厳しい生乳計画生産を余儀なくされると共に、実質乳価の削減で、例年になく重苦しい雰囲気の中でスタートとなりましたが、田高基調の中、再三に亘る濃厚飼料の価格引下げと、個体価格の上昇により、前年度の所得確保がなされた

事は喜びにたえない次第です。生乳の生産は皆様方の御努力にもかかわらず計画達成に苦慮する現況にありますし、一部では急激な産乳減産のため需要供給のアンバランスより、経産牛を中心に生殖機能障害が現れ、今後の大きな課題となった一年でありました。

本年も産業を取まく情勢に変化はなく、厳しさのみが一段と強まるのではないかと、このため本年は次の事を重点に推進戴きたいと考えます。

- 一、基本技術の励行
 - 一、複合部内の採択
 - 一、コスト低減への挑戦
- 普及所ではこれ等実現のため、昨年に引継ぎ営農技術資料を関係者のご協力を戴き作成致しました。この資料をもとに皆様方と相談し、厳しい時代に対処出来る経営が確立される様、所員一同取り組む所存であります。

最後になりましたが、本年が実り多い年でありますこと皆様方の御健勝を心からお祈り申し上げます。



乳牛改良同志会会長 佐藤 拓

今年も後継者の技術交換の場

輝かしい新春を会員をはじめ皆様方とお迎える事を心からお慶び申し上げます。

日頃、乳牛改良同志会活動にご協力を賜わり有りがとうございます。私達の活動が、会員だけでなく酪農経営の中に、一頭当たりの能力の向上や個体販売の消流、審査講習

会等に皆さんと共に全会員が地域の中心となって、情報交換。技術の提供して大きな成果を上げてまいりました。

今後とも独自同志会だけでなく、青年部、改良課等と酪農経営についての問題や、新しいデータを組み合わせる経営基礎を作り上げて行くことが

課題であります。

近年、個体乳量の増加と反比例して生乳生産調整がなされ、そのため牛乳にだけ話題が集中して、農家はもろろん指導機関も牛乳一色の取り組み方しか出来ず、一方的な進め方は誠に残念に思う。

私はこの時こそ実践活動を通して、いろいろな形の経営方法がある事を知り、この機会にみんなで英知を生みだして自立経営の基盤を作りあげて行くべきと思います。

同志会活動の中で次の二つ

に取り組み実践活動を進めてまいります。一つ目は物による利用の仕方があると考え、それらは飼料・機械・推肥・牛・施設等、それぞれ活用によって改善することが多大にあると思えます。二つ目には人作りであり、技術を身に付け新しい情報を聞き入れる事の出きる若い後継者が酪農の基となると確信いたします。

何れも会を通して仲間同志のつながりの場を作って行く事が我々の役割であります。また、会が若者の心の寄り

どころとなり経営に大きな糧となるものと考えられ、これ等は私達同志会活動の中から生まれるものと確信します。

今年も各関係機関をはじめ諸先輩の皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

酪農業は後継者作りであると言う使命を会の信条とし、新たな年に向って私達乳牛改良同志会の役割は限りなく続くことを願い、農家の皆さまの実りある一年でありますようご祈念申し上げます。



農協青年部部长 高橋 勝義

年頭のごあいさつ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新しい年の出発にあたり昨年を思い返すとさまざまな出来事が脳裏によみがえってきます。

なかでも、私達生産者に衝撃的だったのは乳価の値下げとともに生産調整の再来でし

た。円高とはいえ、諸外国から北海道総生産量以上の乳製品が日本に送り込まれ、そのツケが我々に夕前回の調整より更に厳しい状況と不安のスタートでありました。

この様な時期に部長という大役を与えられた訳ですが、とにかく、後継者仲間の組織として厳しい環境に目を背け

ずに行動し、みんなで課題を克服するため意欲的に取り組んでまいりました。特に、春以来、消費拡大に重点を置き、農協・婦人部の協力を得ながら展開を図るとともに、理事者との懇談会、新たに若手職員との交流など農協との関わりを深める機会を設け、常にチャレンジ精神で事に当り、あつという間に一年が過ぎた

新しい年を迎えて

農協婦人部部长 酒井 拓子

明けましておめでとございます。

部員の皆様にはお元気で新春を迎えられた事を心より御慶び申し上げます。

昨年は、蒔付け後の低温に依る農作物等の影響が大変心配されましたが、実り多き秋であったと思います。しかし

ながら、生乳生産においては昨年を上回る厳しい計画生産が行われ、農業情勢の厳しさは加熟するばかりです。組織活動も部員の皆様の協力に依り時代の波に乗り遅れない様にと頑張つて参りました。昨年は始めて部外に活動の場を移し青年部主催の「ふれあい広場」「じゃが芋まつり」会場で、農畜産物のピーアールの

さで、今年はずいぶん、一気に進みたいところですが何やら最近の行政・財界等か

らば、私達が加害者ごときに取り上げられ、過保護だの、自由化だのと大海の荒波に引き込まれ勢いの中で、私達生産者も自己防衛を今まで以上に進め、多事多難な年を乗り越えていかなければと決意を新たにしているところです。また、一方で農協運営のあり方、系統のあり方等も論議的となり、つねに生産者と組織が本来の機能を果たすためにも、お互いに知恵を出し合い農協を核として、今後の諸問題に対処すべくより一層の団結が

求められる気がします。青年部も若い立場から、英知を結集し、行動を前面に結果を恐れず、足元をみつめながら一丸となって取り組み、根室酪農がしっかりと根をはり、誇りを持って當農に従事出来る様諸先輩の指導をおおきながら活動を展開していきたく今年もよろしくお願い申し上げます。盟友各位、組合員の益々のご健勝とご多幸をお祈りして年頭のごあいさつとします。

手伝いと自らの消費拡大に努力して参りましたが、息の長い活動が必要である事を痛感させられました。昨年は東北、北海道リーダ小艇に参加させて頂きましたが、「井の中の蛙大海を知らず」参加者の

なければならぬ問題である事を感じました。私達婦人の役割も家計簿記帳に依る家庭内の守りから、経営簿記帳に依る経営手腕が問われる時代へと大きく変りつつある様に思われます。私達の活動は地域に根差した活動が必要なる事は勿論ですが、地域外にも目を向け、まったく立場も考えも違った人達の意見を聞く等の研修が必要ではないでしょうか？

微力ではありますが、部員相互の親睦を図り我農協を寄るところとし組織の力を結集し残す任期を頑張りたいと考えておりますので御協力下さいます様お願い致します。

本農業の中の酪農の位置づけの小さい事を思い知らされ酪農寒地での畑作問題等、私達、北国で生きる者が解決し

今年は今迄以上に厳しい農業情勢と思われれますが、私も

最後に、皆様の健康と農業情勢の好転を願ひ努力が報われる年である事を祈念して年頭の挨拶と致します。

中標津町婦人祭決まる

趣旨 中標津町に居住する婦人が相集い学習し、自己を磨くと共に交流・交歓を通じて連帯・協調意識を高め、明るいコミュニティーの創造に資することを目的とします。

テーマ 「婦人と家族の健康を考える」

主催 中標津町婦人祭実行委員会、中標津町農協婦人部、外各町内会婦人部、サークル等。

後援 中標津町・中標津町教育委員会

日時 昭和62年1月27日(火) 午前10時(開会)

場所 中標津町公民館

参加対象 中標津町内に居住する婦人

内容 (1)講演、テーマ「婦人と家族の健康を考える」

講師、北海道対ガン協会業務部長 浅野幸子氏

(2)実技指導 乳ガンの自己検診法

(3)講習 身近な素材を使った健康料理

◎牛乳を使った健康料理、雪印乳業㈱、札幌支店

◎こんぶを使った健康料理、歯舞漁協 婦人部

(4)健康相談・展示コーナー ◎保健婦・◎栄養士・

◎歯科衛生士

(5)作品展示コーナー

昭和62年度 草地畜産実技研修生の募集

目的 草地畜産に関する体系的な技術、知識を、畜産振興の技術的中核となるべき者に習得させ、畜産経営技術の総合的な向上を図るため、草地畜産実技研修を実施するものとする。

実施場所 草地畜産実技研修は十勝種畜牧場(北海道河東郡音更町)において実施するものとする。

研修の内容 (1)酪農・肉牛・草地等に関する講義(全課程の約35%)と実習。

(2)先進的酪農家・肉牛農家の見学と短期農家実習。

(3)家畜人工授精師免許・トラクター運転免許等を取得するようなカリキュラムの編成。

研修期間 昭和62年4月から昭和63年3月まで1か月間。

講師 十勝種畜牧場職員・帯広畜産大学教授ほか学識経験者。

応募資格 高等学校を卒業した者(見込みを含む)で北海道知事の推せんを受けた者。

募集人員 15名程度

応募手続 (1)受講願書等の用紙は、十勝種畜牧場に請求すること。

(2)受講願書等は、北海道知事に提出すること。

●市町村及び支庁経由のこと。

●提出期限 昭和62年1月20日

なお、詳しくは中標津町役場農林課畜政係へお問い合わせください。



明けましておめでとうございませう。

昨年ではん菜生産振興会事業にご協力いただき厚くお礼申し上げます。昨年は会員の皆さまにと

てん菜生産振興会発足十年の節目を迎えて

副会長 長縄弘

って大変に不安の多い年でありました。長年にわたり農協内に事務所を設け、ご指導をいただいで来たホクレン中標津原料所が磯分内の開発課に移転しました。また、一昨年から糖分移行と言われながら、基準糖分が原料出荷ぎりぎりの十月に決定となり、そのう

え畑作三品目の中のビートの価格が引き下げとなるなど、誠に残念でなりません。また生育期前半の低温と日照不足で寒冷地作物の特性も発揮できず、予想をはるかに下回り、五十七年来の不作の年になりましたが、糖分については皆

さまた大変な努力により基準に達する事ができ、救いであつたとよろこんでいる次第です。六十二年を迎え、今年こそ目標に向かって頑張りたいと思います。中標津町農協てん菜振興会も五十三年の発足以来十年目を迎え、重量買いかから糖分買

いへと移行されましたが、十年目を節目として、一次産業の厳しい時代こそ、酪農経営の中で草地更新、てん菜の耕作により経営の安定を図ると共に、てん菜生産振興会がますますの発展と繁栄を願ひ、生産者の皆様には本年もご健勝で、実り多き年になりますようご祈念申し上げて年頭のご挨拶と致します。

授胎不良牛が

増加している!!

「出荷調整方法のまずさが、人為的栄養失調を起こしている。」

中標津町農業共済組合

最近、七・八月に分娩した乳牛が、発情がこない、排卵がスムーズでないと言う農家が増えつつある。悪いところでは一戸で十二頭もの牛が排卵障害、のう腫によって不授胎となっている。これらの農家、不授胎牛郡を調査した結果、次のような共通点がある。

一、出荷枠があるため昨年同様に飼料給与する牛乳が余る予想がある。
二、その為に、計画的あるいは無意識のうちに飼料給与を抑えていることである。また牛群の結果では、TDN、CPの給与率が六十〜七十割となり、
三、乳牛自体が体力保持能力を発揮して、産乳量を抑えている。
四、乳牛の外ばうは、やせている様子はない。(水肥り)がある。

五、乳脂率、無脂固形分が徐々に低下しているなどが上げられる。このような状況から、卵巣の発育が不良となり、不授胎のう腫などの増加となっている。一度この状態になると、獣医師が注射などの治療をしても快復はできず、仮に快復しても長期の治療を要する。

不授胎牛の発症増加は、翌年、翌々年の乳期に大きく影響するとともに、今乳期の乳成分の低下は、収益に大きく影響を及ぼす結果となります。治療法は只一つ、乳量に応じた飼料給与をすることです。飼料給与を適正に戻してもこのダメージは簡単には快復せず一カ月以上かかります。早期に発見し、治療と給与を早急に実施することが必要です。そのことが末期の分娩乳生産を安定させることとなります。このことによって、たとえ今年枠をオーバ―し、投棄することになっても、長期的視点に立って実施して下さい。また、どうしてもまずいと言う方は、妊娠牛にのみ、若干の減量を実施するのも一方法です。乳検データなどを活用して牛群の動きを確認し、排卵障害、卵胞のう腫が発症したら、早めに診療所、普及所、農協へ連絡下さい。

「一時的減飼は三年の回復期間を要します。」

「一時的減飼は三年の回復期間を要します。」

十一月二十三日、寿宴ウエディングホールで、佐藤末美様ご夫妻の媒妁によって、慎一君と明美さんの結婚祝賀会が催され、大勢の親戚、知人、友人が参会して盛大に祝福された。

二人の出会いには共にバレエホルの愛好者だったからで、バレエを通じて知り合った。その時の第一印象を慎一君は「随分フテ、女だなア」明美さんは「わあースマートでステキ♥」それ以来、半年余りの交際期間を経てこの度めでたくゴールインされた。

慎一君は佐藤道嘉牧場の長男で、農業高校卒業後は農業後継者として家業の酪農に従事、酪農の基礎知識を身につけて頑張ってきた。

一方、明美さんは中学三年の時、渚骨町よりご両親、姉弟と共に当町へ転入、高校卒業後は会社勤めだったので酪農の経験は全く無いが、これから若い二人は、祖父母、ご両親が営々と築かれた基盤を継承し、更に経営の充実を図り足元の強い酪農を目指して助けあい手を取り合って頑張ってもらいたい。

新婚さん

豊岡 慎一くん (24)
佐藤 明美さん (22)



十一月二十三日、寿宴ウエディングホールで、佐藤末美様ご夫妻の媒妁によって、慎一君と明美さんの結婚祝賀会が催され、大勢の親戚、知人、友人が参会して盛大に祝福された。

二人の出会いには共にバレエホルの愛好者だったからで、バレエを通じて知り合った。その時の第一印象を慎一君は「随分フテ、女だなア」明美さんは「わあースマートでステキ♥」それ以来、半年余りの交際期間を経てこの度めでたくゴールインされた。

慎一君は佐藤道嘉牧場の長男で、農業高校卒業後は農業後継者として家業の酪農に従事、酪農の基礎知識を身につけて頑張ってきた。

一方、明美さんは中学三年の時、渚骨町よりご両親、姉弟と共に当町へ転入、高校卒業後は会社勤めだったので酪農の経験は全く無いが、これから若い二人は、祖父母、ご両親が営々と築かれた基盤を継承し、更に経営の充実を図り足元の強い酪農を目指して助けあい手を取り合って頑張ってもらいたい。



ミュンヘン大学前で

第十二回

ヨーロッパ酪農

人工授精 研修視察報告

家畜改良課 河内谷 義一

この度、北海道家畜人工授精師協会主催による、第十一回ヨーロッパ酪農・人工授精研修視察に参加する機会を得、十月十二日より二十九日まで、デンマーク、

西ドイツ、スイス、フランス、オランダの五カ国を訪問いたしましたので、自分なりに見聞してきました事を報告させていただきます。

最初の視察場所は、デンマークにあるフォスエレクトリック社で、この会社は、一九五六年に設立された酪農乳業及び、食品業界の成分分析機専門メーカーです。この会社は、中標津乳検組合でも使用している多成分測定機ミルコスキヤンを、商品化し販売して

ります。その他に、細菌測定機バクトスキヤンや、細胞測定機フォソマチック、ミルクスケール等も販売しています。本社職員四五〇名中八十名を、研究部門に配属し、製品開発に重点がおかれています。現



バンガーサイロ



スイス山岳酪農

在は、単一の分析機から、コンピュータを使用し、分析結果を集中処理する。総合試験システムを研究しております。

研究員の人達から、製品の説明を受けましたが、皆とても熱心で、流石、世界のトップメーカーだと、印象を受けました。

次に、デンマーク農業助言センターを、訪問しました。ここは、乳検事業、乳牛改良、飼料を中心とした飼養技術の

開発普及など、酪農経営に関するあらゆるサービス事業の指導機関であります。運営資金として、国や地方から基金援助を受けているが、運営は構成員の自主性にまかされております。

ここでは、アシスタントディレクターの人や、デンマーク人工授精師協会事務局長の人から、人工授精、牛の改良、酪農状況等について、話を聞きました。

デンマークでは、人工授精

の普及率が七十五%位で、一〇万頭の乳牛に人工授精を行なっております。その内、六十五%が、デンマーク黒白牛で、十五%が、デンマーク赤白牛だそうです。

人工授精の初回受胎率は、七十三%（三十一・七十NR）位で、受胎まで、一・六回ばかり、初産分娩月令二十七カ月、分娩間隔は、三七五日位だそうです。

最近、アメリカ、カナダから、精液を輸入しております。

アメリカ、カナダの牛は、乳量で改良されている為に、乳量に対する遺伝的改良度が早められ、乳房低面の位置が高く、体格が大きい等によります。このことは、デンマーク黒白牛をアメリカ、カナダタイプに切り換える為でなく、これらの豊乳性にデンマークの牛肉生産性を、プラスする考え方で導入されています。

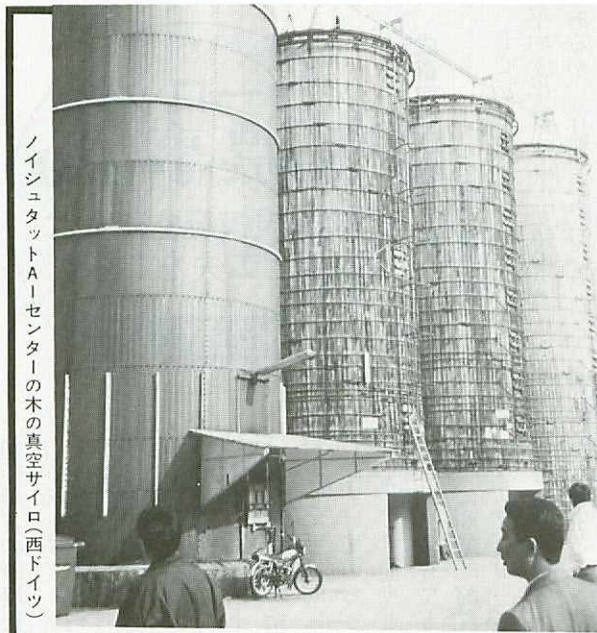
取り進められています。デンマークでは、人工授精師になるには、一年以上農家で実習をした者が研修を受けることができます。最初に、六週間の研修を受け、六カ月の実技をして二週間の講習を受け、終了試験に合格してやっと、人工授精師になれるという厳しさです。フランス、西ドイツ等も、人工授精師に対する教育は割に厳しく、受胎成績の良い人は、再教育を受けねばならず、こうい

つた事がヨーロッパと日本の人工授精に差があるのではないかと思われました。デンマークでは、酪農家戸数が約三万五千戸で、百万頭の搾乳牛を飼養しております。一頭当りの乳量は、デンマーク黒白牛で約六四〇〇kg（F%四・〇）デンマーク赤牛で六〇〇〇kg（F%四・二）位だそうです。

乳価はECのバター脱粉の保証価格を基準として脂肪、蛋白質及びその固形分の価値を計算して各々%当りの単価を出し成分率によりスライドさせています。更に衛生的な品質（細菌数、細胞数、風味）、季節乳量調整金等が加算され決定しています。（約二・一四クローネ/kg約四二・八円）デンマークでも年々、酪農家戸数は減少していますが、生産調整の取り組みや営農指導の為に、指導員や技術員は増やし、この時代を乗り切ろうと、努力しているようでした。

環境美化については、ヨーロッパどこでもそうだと思われませんが、市街地、農村の住宅は窓やベランダを、レースのカーテンや赤い花で飾り人の目を非常に楽しませてくれます。農家も住宅、牛舎、その周辺の整備を良くしているが、デンマークでは今後二年以内に牛の、糞尿処理施設を設備しなければならぬという、ヨーロッパ人の環境美化に対する取組みに、とても感心させられました。

（次号へつづく）



ノイシュタットA-1センターの木の真空サイロ（西ドイツ）



20年使用のトラクター（西ドイツ）



A-1師の車に積まれた精液保管機（西ドイツ）



成畜四〇頭規模での
経営集化か

ECの一九八四年一戸当り平均成牛数十五・七頭程度であるが、各地での説明などから想像するところ、ECの目標とする経営規模の想定は成牛四〇頭規模による集約的な合理的酪農経営を目指しているのではないかと思われた。

成牛四〇頭以上飼養農家

（一九八四年）

国別	酪農家戸数%	成牛頭数%
西独	六	二二
オランダ	四四	七五
英国	五七	八五
デンマーク	二六	五一
仏国	八	二六

各国とも集中化の傾向がみられているが、今回のクォーター制以降を契機として、小

規模経営の離農促進をはかる一方で、経営規模拡大をはかり、集中化を進めているようである。デンマーク、ドイツなどの助言センターのクォーター制下における酪農経営の指導方針として共通的に次の点をあげている。

① EC共通点として

濃厚飼料依存型となつており、特に商業的酪農経営展開がオランダを中心に行なわれていたが、今後は土地に立却した、乳牛という草食動物を完全に活用し、このため良質粗飼料の確保にとめる。

七〇%粗飼料利用と五〇%粗飼料利用のタイプをみると七〇%粗飼料利用タイプが所得率で向上をみている。このことは我が国でも一頭当り生草五頭の給与の場合の乳飼比が五八%に対して十五%では三五%となつて所得増大のキメ手となっている。②購入飼料の節減をはかること。自給的濃厚飼料の確保、麦類の作付、③一頭当り乳量の増加につとめること。このため乳牛改良を進め、だ牛のとう汰を

はかる。④健康な乳牛管理、乳房炎、繁殖障害牛の排除、ECでは殆んど開業獣医師であり支出を抑える。⑤良好な産仔の確保、十二〜十四カ月の産仔、一日当り及び一乳期の乳量が高いこと。⑥このため乳牛を改良大型化するためカナダ、アメリカより優秀な精液を輸入する。⑦生乳生産と肉の活用のためにも、在来型より大型化すること。⑧最大の課題としてEC全体が

の目的であるとの考えから、負債もあまりなく、農村生活の中で、ジャムを作り、肉製品を作り、生活が確保されるならば、どの様な事態にも対応できるという経営は今後とも永續されるものであろう。今後の国際競争の中での目標として成牛四〇頭平均水準を目標としているように感じられた。

酪農家の対応

各国の国民性が経営に反映され、又個人の支え方が、将来の経営像を決めているようである。

デンマークでは、特別な問題として環境規制問題が発生している。これは長年に亘る堆厩肥の投入で土地が窒素過多となつて、空気、土地、水の汚染がみられるので、一九九〇年までに堆厩肥の密封化をはかることとなつて、新規投資が問題となつている。

この規制としては一ha当り成牛二・三頭などの検討が行なわれていることについて、

新しい開拓地では、都市近郊から規制のない我々のところに

移転してはどうかなどと言っているが新しい問題となっている。また、デンマークでは、父親の経営を息子が買い取る形で引継ぐが、近代化に投資された負債と買い取り価格を考えると、金利の面、生産制限などから、既に三〇haの土地を自ら手に入れていたため引き継ぐかどうか判らないという話もあり、社会構造の相違などから理解しにくい面があった。

又ドイツでは、さすがに意欲的な経営展開がみられ、オランダでは、新たに二〇haの土地を購入し、これに一七五〇〇〇の生産枠がついており大いにやれるという自信に満ちた酪農家の話があり、英国では畜産大学卒の優秀なマネージャーの、意欲的な経営展開が期待され、農村生活をエンジョイしている姿に接し、スイス山岳では山チーズ作りながら山岳生活と酪農を楽しむ姿があるなど、それぞれ個性的な酪農経営の展開がみられた。

消費拡大についてそれぞれ酪農家の拠出で行なわれているが、これぞと言う決め手は

レッツ！健康



働き盛りは健康第一

成人病と胃がんの合同検診

新保健センターではじめて実施!!

ないようであるが、デンマークでサッカーチームのユニフォームに今までビール会社のマークから金を出して牛乳の

キャロラインマークでテレビに登場するということであつた。

いまや人生八十年といわれる時代。日本は世界一の長寿国となりましたが、人間ただ漫然と長生きしただけでは幸せせとは言えません。健康で長寿を全うすることが第一の幸せです。

それには若いうちから成人病に負けない健康な食生活、日常生活に心がけ、検診などで病気の芽を見つけ早期に摘みとってしまふ事が大切です。

郡部ではすでに、各部落会館で成人病検診を一度行なっていますが今年から新保健センターでも成人病・胃がんの合同検診が行なわれます(内容・料金は郡部の成人病検診四月の胃がん検診と同じ又、それぞれ、単独でも受けられます。対象)

- 成人病検診 30才以上
- 胃がん検診 30才以上
- 結核検診 19才以上

- エキノコックス検査 三年以上検査をうけていない方

料金

成人病検診 4000円
胃がん検診 1200円

(農協から半額補助があり、残りが組勘から引かれます)

- 結核検診 無料
- エキノコックス 無料

検査内容

成人病検診 身長・体重尿
血圧・心電図・血液
高脂血症・肝臓・貧血

胃がん検診 バリウム検査
結核検診 胸部レントゲン
エキノコックス 採血

日程

六十二年一月二十日(火)
一月二十三日(金)

場所

新保健センター(町立病院
右手奥)

受付時間

- 成人病検診 午前七時～十時三十分
- 胃がん検診 午後一時～二時三十分

(胃がん検診と同時に受けた)

い方は午前の時間帯に来て下さい)

胃がん検診

- 午前七時～十時三十分 受ける時の注意
- 成人病検診
- 前日の朝食から脂肪の多いもの、夕食よりアルコール類はひかえる
- 午前中うける方 朝食はとらないで下さい。
- 午後から受ける方 朝食は軽く昼食はとらないで下さい。

胃がん検診
●前日夜十時から飲食をしないで下さい。
●前日は酒類を飲まないで下さい。
●当日タバコを吸わないで下さい。

その他

申込みを忘れた方でも受ける事が出来ます。健康手帳を忘れずに持ってきて下さい。

家畜改良

と

選抜淘汰

家畜改良課
井出本 李次郎

乳牛改良の目的

改良の大きな目的は品種の能力を向上させ、人類に利益をもたらすことであります。

つまり乳牛の経済的生産能力の向上なのです。この生産能力はそれぞれを司さざる遺伝因子に大きく支配されます。乳牛の生産能力・体型・資質を総称して形質といいますが、このうち明らかに遺伝するものを遺伝形質といえます。「淘汰なくして、改良はあり得ない」と言う言葉があります。家畜の改良とは利用目的の遺伝形質をますます伸ばし、好ましくない形質を極力とり除くことなのです。

種々の改良目標に向って家畜集団を改良変革して行くためには、目標に近い仔畜を生産する遺伝的に優れた種畜を選び出さなければならぬのです。選抜とは優良な種畜を選ぶと同時に、悪いものは淘汰し次代における優良遺伝子の比率を増加させることであります。

選抜淘汰の方法

A、個体・家係・家系内選抜
方(表一)

表一は三頭の母牛の24頭の娘牛の年間乳量を示すもので、これに基づいて各選抜方法を示すと。

一、個体選抜

図の集団から4頭を淘汰せよというときには、N V W Xを選ぶのが個体選抜淘汰です。この方法は遺伝率の高い形質に用いられると良い、肉用牛の直接検定はこれらにあたります。

二、家系選抜

家系選抜とは、母牛1 2 3の娘牛の平均乳量が最も良い

ものを選ぶことである、この成績からは母1が平均六、五〇〇kgで一番良い、従ってこの家系のAからFまでの個体を選ばれる。

三、家系内個体選抜

それぞれの家系の中で最も悪いものを選び淘汰すること。家系内選抜淘汰と言う。各家系から2個体とすれば、図で判るようにE F M N W Xが淘汰される、家系1のE Fが、家系3のV Xより乳量が多い

がこのようなこともあり得る。以上の方法については家系以外、産歴、乳脂量、体形などに置き変えて利用できます。

B、後代検定及び血統による選抜

一、後代検定による選抜
仔の平均記録を基に親を選抜する方法で、北乳検でも実施しているH P Dがこれに当る。乳牛の泌乳量、乳脂量、円

二、血統による選抜

個体の育種価を父母、又は祖父母等の記録を用いて推定し選抜する。父又は母の記録による選抜はその個体の記録に比して正確度は五十%であり、父母が不明で祖父母いずれかの記録という時にはその正確度は二十五%である。これは現在、ホルスタイン協会等からP・I(ペテグリー、インテックス)という形で資料

三、体形による選抜

肉牛牛の場合は体形と経済形質との間に相関がみられることがある。この場合は体形的にみた選抜淘汰により、経済効果があると思われるが、乳牛の体形得点と乳量のような場合は、得点の遺伝率〇・一〇・三%程度で乳量との

遺伝相関も〇・二%と低いので、体形のみによる選抜によって

牛を選び出す方式である。乳牛の様に1頭の種牝牛が多くの仔牛を残す場合、種牝牛の育種価の良否はその集団の遺伝子構成に重要な影響を与える。

(表一)

家系-1 (母牛1)	A	B	C	D	E	F					平均
	●	●	●	●	●	●					6,500 kg
家系-2 (母牛2)	G	H	I	J	K	L	M	N			6,275 kg
	●	●	●	●	●	●	●	●			
家系-3 (母牛3)	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	6,040 kg
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
生産能力(乳量)	7,000	6,800	6,600	6,400	6,200	6,000	5,800	5,600	5,400	5,200	

乳量が飛躍的に向上するとは
言えない。

アメリカにおけるホルスタ
インの改良は体形を重視せず、
カナダは体形重視であった、
その結果アメリカは乳量は高
いが体形で劣り、逆にカナダ
は体形が良いがアメリカより
乳量が10%低いと言われたこ
とがある。しかし日本では特
に乳器について約20年前に比
較して、改良された大型酪農
にマッチしたホルスタインが
造られた。

四、複数形質選抜

イ、順繰り選抜方

ひとつの形質について先ず
選抜し改良し、満足出来る水
準に達したらその群に対して
二番目の形質を選抜し改良す
るといった、一形質つつ改良
してゆく方法である。

ロ、独立淘汰水準方

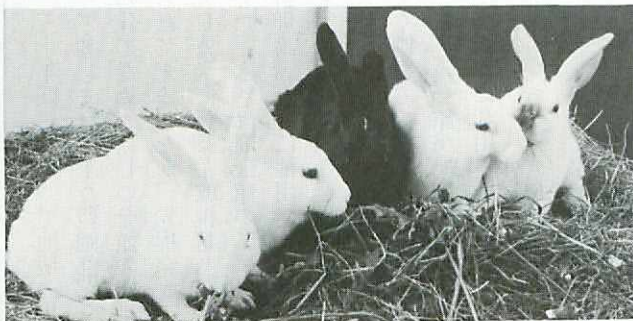
各形質について、例えば乳
量・乳脂率・体形といったも
の選抜基準（淘汰基準）を
決めて、全ての基準に合格し
た個体を選び出して次第の親
とする方法である。

ハ、指数選抜方

〈各家畜の主な形質の遺伝率〉

乳牛		豚	
乳量	0.2~0.4	一腹子数	0.1以下
乳脂率	0.4~0.8	生時平均子豚体重	0.1以下
固形物率	0.3~0.7	離乳後増体量	0.3
妊娠期間	0.2~0.4	飼料要求率	0.3
		平均背脂肪厚	0.5
羊		屠体長	
毛量	0.2~0.5	屠体長	0.55
毛長	0.4~0.7	ロース芯面積	0.45
クリンプ数	0.4~0.9	赤肉割合	0.45
1腹子数	0.1~0.2	卵用鶏	
産肉性	0.5前後	産卵数	0.3
		卵重	0.55
肉用牛		初産日齢	0.32
受胎に要する種付回数	0.10	卵比重	0.41
分娩間隔	0.10	成体重	0.56
生時体重	0.40	フ化率	0.16
1日増体量	0.55	生存率	0.05
成熟体重	0.60	肉用鶏	
脂肪交雑	0.48	8週齢体重	0.52
ロース芯面積	0.50	胸角度	0.44

注 豚は中央値、鶏は平均値



新年あけましておめでとうございます。
組合員のみなさんと農協とのコミュニティを更に深めるため、
地域の話題あれこれ・フォーカス・文芸など「農協だより」に投
稿してませんか、今年は兎年、ヨロシクお願い致します。

現在の酪農経営から 淘汰について

生産される牛乳が余り計画
生産が未だ続くであろうと言

各形質の経済的重要度から
それぞれの重み付けの値を決
め、それらに対応する形質と
の積を求めて合計したものが
指数値である。そして指数値
の高いものを選び出す方法で
ある。

われわれ今日、いやが応でも淘
汰しなければならぬと言っ
た状態になって来ました。現状
の淘汰を見ると乳量の少いも
のから淘汰されているようで
すが、それを更に掘り下げて
みるとその乳量の少い原因が、
乳房炎や繁殖障害等の疾病・
年令が要因となっているもの
が少くないようです。これは
後天的要因によるもので飼養
管理を改善しなければ、高能
力の牛程先に淘汰されてしま

うといった、誤った淘汰にな
ってしまう恐れも多分にある
と思われます。こうなると乳
牛改良の為の淘汰ではなくな
ってしまいます。
個体販売が大きなウエート
を占めるこの地帯の酪農経営
については、販売・イコール
淘汰と考えるのは誤りで、「自
分の牛群だけ良いものを揃え、
悪いものは売る」では、根室
管内、道内、ましては日本の
乳牛改良にはならないのです。

淘汰という意味は悪いものを
死滅させることなのです。
これからの酪農は牡牛側の
後代検定も急速に進み、雌牛
の方も選抜淘汰、飼養管理の
改善などにより、アメリカ酪
農が経験して来たような搾乳
頭数は減るが生産乳量は伸び、
個体能力が大巾に上って来る
時代を北海道も迎えようとし
ています。

営農計画書は家族で話し合って樹立を!!

くみかん
組合員勘定の
取扱いについて

組合員勘定制度を本組合では昭和三十六年に導入し、組合員の農業経営を計画化することによって、経営の効率化と生活の合理化を図るべく運用されてきました。この間、高度経済成長期における投資の増大（農地・住宅・農機具）と消費の拡大（生活水準のアップ）等農家経済が肥大してきました。

その後、昭和四十八年のオイルショックによる日本経済の低成長への移行と、昭和五十四年度より生産の計画生産、価格の低迷により、所得率が減少し負債が累増すると共に農家経済は極めて厳しい事態に直面しております。

この様な農家経済の構造が大きく変化するなかで、本年度の実態を見ますと、その適性運用化が薄れて、ややもすると便宜的（何でも決済）に運用されており、このことが単年度収支が合わず、農家経済立直しの阻害要因となっております。

組合員勘定制度の趣旨を見直し本来の目的に戻って、昭和六十二年度よりスタートする改定した営農計画書、組合員勘定報告票、営農管理報告票の適性運用に努めていただきます。

組合員勘定取引基準

組合員勘定の取引対象者は、

- (一) 組合員勘定取引約定契約の締結者。
- (二) 営農計画書の提出の組合員で、単年度収支のバランスがとれる。又単年度収支のバランスがとれなくても、将来経営改善が確実であり、経営自己管理に強い意欲のある組合員、となっております。

また、組合員勘定は組合員の必要とする総ての資金を供給するものでなく、農協を経由する販売代金、その他の約定受入資金に基づき資金供給限度の範囲内で、経営資金と家計資金を供給するもので取引対象資金は次の通りです。

一、資金受入項目

- (1) 農産物販売代金
- (2) 畜産物販売代金（補給金）
- (3) その他（家畜共済金・現金及び振替による受入資金外）

二、資金供給項目

- (1) 経営費
- (2) 家計費
- (3) 資金返済
- (4) 支払利息
- (5) 貯金・共済
- (6) 農業機械

詳細の項目については昭和六十二年度営農計画書を参照下さい。

尚、農業機械は単年度収入で決済出来るものは組勘で扱いが出来ますが、支払が一年以上の長期に亘るものについては農機具延払貸付金をご利用下さい。

「豊岡会館」新築成る

寄りどころ

三十年間にわたって地域の集会場として親しまれて来た豊岡部落会館が老朽化のため、新しい会館の建設が進められて来ましたが、先程完成し十二月九日盛大に新築落成祝賀会が催されました。広さは旧会館の二倍以上になり、料理講習会等に活用できる充分な台所も完備した立派な会館です。

建設された場所は国道二七二号線のすぐ側なのでいい目印になります。新しい会館が地域の寄り所として多くの人達に利用されるでしょう。



通信員
だより

理事会の経過



第十回理事会

開催日 十二月十一日
開催場所 農協中会議室

〈議案〉

- 一、貯金利率の改定について。
- 二、生産物金融貸付金利率の改定について。七・五〇%
- 三、系統肥料特別対策費及び、六十一農薬特別対策費の支出について。十二月十二日。

- 組助・普通貯金口座に振込
- 四、昭和六十一年度畑作緑肥対策について。
- 五、昭和六十二年度営農計画樹立に当っての基本方針案並びに営農計画作成資料について。
- 六、昭和六十一年度団体営草

- 七、クミカン及び農機具延払貸付金利率について。
- (1)クミカン貸越(営農貯金ネットを超えるもの) 七・七五%
- (2)農機具・施設・車両・延払利率、六・三%。保証人は三百万円以内は一名

- (3)実施日、昭和六十二年一月一日

各号議案は原案どおり決まりました。

〈協議事項〉

- 一、固定化債権の処理について。

〈報告事項〉

- 一、自治監査実施について。
- 二、てん菜出荷実績について。
- 三、販売事業の概要について。

- 四、人工授精頭数について。
- 五、昭和六十二年度職員の採用内定について。

- 六、肉牛センター用地の経過について。
- 七、組助中間協議後の状況に

- 八、昭和六十一年度生乳計画について。(再配分)

昭和61年度 緊急良質生乳供給特別奨励金 第1.2四半期分支払

支払月日
12月24日

昭和61年度畜産物価格関連対策の新規事業と発足した。緊急良質生乳供給特別奨励金交付事業の第1.2四半期分下記のとおり支払いたしました。

奨励金支払内容

- (1)奨励金支払対象数量(kg)…各四半期受託一等乳量
各四半期加工原料乳補給金交付対象数量kg当り

(2)奨励金支払内訳

中標津町農協

	第1四半期分(4~6月)	第2四半期分(7~9月)
奨励金支払対象数量	16,853,265.0kg	17,965,770.1kg
奨励金支払金額	18,044,790円	18,925,139円
奨励金支払単価(円/kg)	1円0707	1円0534

注 奨励金の支払い時期

第3四半期(10~12月) 昭和62年2月末

第4四半期(1~3月) 昭和62年4月末

農村地域/バター・チーズ消費拡大運動推進状況

酪農の長期安定を図るため、昭和54年度より生乳の計画生産を実施しているが、バターをはじめとする乳製品は消費が停滞し、在庫は増加の傾向があるので、一般市場における積極的な販売拡大対策を実施する一方、農村地域に限定したバターとチーズの詰合せを製造し、組合員向け消費拡大を展開し別表のような推進状況となりました。御協力有難うございます。別表

	バター			チーズ		
	目標セット	実績セット	進 度 %	目標セット	実績セット	進 度 %
中標津町	603	400	66	299	974	326

間違いさがし



この絵の中には、いくつ間違いがあるでしょうか。間違いを見つけて、その数をハガキに書いて送って下さい。

〔応募規定〕

- ①官製ハガキに答えを書いて送って下さい。
- ②あなたの氏名・住所・年齢を書いて下さい。
- ③対象者●小・中学生
- ④宛先―中標津町東七条南二丁目 中標津町農協組織広

報係

⑤締切日―一月二十日まで

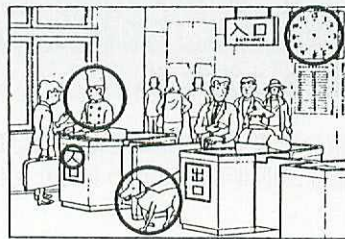
※正解者には当り賞、応募され、残念だった方には参加賞を差し上げます。なお、賞品は農協へ受け取りに来して下さい。

※発表は、三月号紙面で行います。

〔十一月号の当選者〕

十一月号の正解は「四つ」(下の図の○印)でした。応

〈11月号の間違い箇所〉



募者数五名で正解者は、三名でした。
正解者は次のとおりです。
俵橋 中林誠司くん
俵橋 中林英司くん
俵落 真部幸子ちゃん

〈お知らせ〉 年始の業務

12月の
組合日誌

- 3日 役員協議会
- 4日 店舗利用者懇談会
- 5日 第3回生産委員会
- 8日 第3回営農委員会
- 8~16日 農機具管理共励会
- 10日 馬鈴しょ振興会役員会
- 11日 第10回理事会
- 17日 てん菜生産振興会役員会
- 18日 酪対役員会
- 19日 馬鈴しょ耕作者全体会議
- 26日 第5回役員協議会

業 務	月日(曜日)	営業時間	
一 般 業 務	1月7日(水)	午前9時より 午後4時30分まで	平常営業
貯金、クミカン カ ワ セ	1月5日(月)	平常営業	
ATM(現金自動 受入・支払機)	1月5日(月)	平常営業	
ス ト ア	1月5日(月)	午前10時より 午後6時まで	1月5日より 平常営業
ス タ ンド	1月5日(月)	午前10時より 午後1時まで	1月7日より 平常営業
人 工 授 精	1月4日(日) ~6日(火)	受付時間 午前10時まで	1月1日~1月 3日まで休業